

消防学校 ニュース



令和元年8月号

初任科 校長 通常点検

ついに来たぞ!! 待ちに待った 校長 通常点検

初任科生が入校して3か月が経過しました。この間、毎朝欠かさず教官による通常点検を実施してきました。通常点検とは、職務遂行に必要な諸般の状況を検査し、その不備の点はこれを整備又は反復訓練して是正し、もって消防活動に際し有効適切な措置をとらせることを目的に、人員、姿勢、服装、手帳等の点検を行うものです。

7月3日(水)、ついに校長による通常点検が実施されました。担当教官、教務班長、教務課長の点検を経て、毎日だった通常点検は週1回の校長による点検になり、外出も週に1回許可されます。校長点検は学校生活の中で、初任科生にとって難関でかつ待ちに待った通過点です。



初任科生屋外訓練場に全員整列



塩崎校長による通常点検が始まりました。



気が引き締まる初任科生



塩崎校長の鋭い目が光ります。



手帳もしっかり点検します。



塩崎校長からの訓示です。

初任科スキndaイビング体験

水は冷たいが、心は熱い！

消防学校には長さ 25m、最大水深 5 mのプールがあり、潜水訓練などの水難救助訓練に使います。

7月10日（水）から3日間、初任科第90期ではプールを使用した実科訓練が始まりました。

指導員は、有限会社ダイビングベルのインストラクターにお願いしています。水難事故と対処法、救助法等に関する座学から始まり、実技（セルフレスキュー、事故者救助法、スキndaイビングの基礎等）を行い、水難救助の理解を深めました。

※ 初任科では安全管理の一環として泳力により帽子を赤、黄、青と色分けをした取組を行っています。



まずはプール清掃からです。

プールでのスキndaイビング

水難救助科(第27期)が始まりました

みんなが頼りにしています！

令和元年7月16日（火）から8月2日（金）まで、県内12の消防本部から推薦を受けた26人の消防職員が水難救助科第27期生として本校へ入校しました。

静岡県は、全長500kmに及ぶ長い海岸線、大小数多くの河川や湖沼を有しており、県内外から多くのレジャー客等が訪れ、全国的にも水難事故の多発県となっており、県下各消防本部にとって水難救助は大変重要な任務です。

本課程では、学校プールでの基礎的な潜水訓練、富士川での急流河川救助、三保海岸での海岸訓練、そして用宗漁港での総合訓練と、実践的な訓練を行いました。



校長挨拶（開校式）

消防学校のプールでの潜水訓練



富士川での急流河川救助訓練

所属消防本部の激励

初任科生への激励、ありがとうございました。

7月9日に熱海市消防本部が、10日は磐田市消防本部が初任科生の激励に来ていただきました。大変お忙しい中、初任科生たちを励ましていただきありがとうございました。



熱海市消防本部の皆さん



磐田市消防本部の皆さん

初任科 合格率アップ！全員合格めざし～気合を入れろ！

危険物取扱者試験

令和元年 6月20日実施、7月9日結果通知

＜乙種第4類＞（ガソリン、軽油等）

受験者 108名 合格者 94名 合格率 87.0%

＜乙種第1、2、3又は6類＞

受験者 17名 合格者 17名 合格率 100%

【全体】

受験者 125名 合格者 111名 合格率 88.8%

「危険物取扱者」は、消防法に基づく危険物（火災の危険性が高い物質をまとめて指定）を取り扱ったり、その取扱いに立ち会うために必要となる日本の国家資格。

資格取得のための試験は、現在、全都道府県で指定試験機関（総務大臣が指定）である一般財団法人消防試験研究センターが行っています。

本校の場合、（一財）消防試験研究センター静岡県支部の協力により、6月20日、本校において初任科生を対象とした危険物取扱者試験が実施されました。

担当教官コメント

危険物取扱者試験に伴う学習においては、『火災のメカニズム』や『消火理論』を十分に学ぶことができ、さらには、広範・多岐にわたり利用されている『危険物』に対する知識も習得することができます。

そのことから、「危険物取扱者」に関する知識を習得することは、災害に対応する消防職員として必要不可欠であるという本質や、この程度の壁は、難なく越えられる強い精神力と行動力を持ち取り組むよう初任科生たちに伝え、今回の試験に臨ませました。

不合格だった者は在校期間中に再受験を行い、合格を目指します。初任科第90期全員が資格を取得し、初任教育修了の日を迎えてもらいたいと思います。

【年度別合格率】

区分	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	令和元年度
	77期	78期	79期	80期	81期	82期	83期	84期	85期	86期	87期	88期	89期	90期
乙4のみ	56.7%	59.1%	54.5%	91.9%	52.2%	53.3%	42.1%	58.3%	72.8%	71.0%	91.6%	94.6%	89.9%	87.0%
乙4+各類	60.7%	61.5%	58.5%	90.9%	54.1%	55.7%	45.7%	62.5%	74.7%	75.7%	90.7%	94.9%	90.9%	88.8%

女性消防団員勉強会の開催

令和元年7月6日（土）、静岡県女性消防団員連絡協議会が初めて主催する「女性消防団員勉強会」が消防学校で開催され、県内の女性消防団員100人が参加しました。

午前中は静岡大学の池田先生の講演「避難生活の課題と女性の視点による対応」、午後はロープ結索、放水要領、パッキングの訓練を実施しました。特にパッキングについては、初めて体験する方が大半を占め、とても有意義だったとの感想がありました。



ロープ検索訓練



放水訓練



パッキング訓練

塩崎ぜっ校長

ワンチョット(チョイネタ)コーナー
今月のつぶやき

「先輩はすごい」

7月、初任科学生が出身の消防本部で1週間の実務研修を行った。その報告書で「先輩は体力、技術、判断力等すべてがすごい、自分の力不足を痛感した」と多くの学生が感想を綴っていた。私は、日々の訓練の様子を見ていて、学生達は相当体力がついた、と思っていたので少々驚いた。『そうか、先輩達はそんなにすごいのか?』改めて消防の厳しさを感じた。先輩達に早く追いつけるように、ずっと精進を続けてほしい。がんばれ初任科90期生!



おまけも
ぜっ校長
だよ!

「歯痛」

「歯痛」

休日の午後、冷たいアイスを食べた後、左奥の上下の歯が痛みだした。歯にヒビが入りそこから痛みが沁みこむ感覚。それが次第に猛烈な痛みになる。私は、歯医者に行く基準を「歯痛が歯医者への恐怖心を超えた時」と決めている。急場しのぎで市販の痛み止めを服用、すぐに効果が出たのでしばし忘却に逃げ込む。夕食後、再び猛烈な痛み。痛みを耐えられない。さすがに観念した。翌日の夕方、半べそかきながら開院したばかりの近所の歯医者に行った。歯は本当に大切。安泰な老後のために退職前にすべての歯を直しておこう。

次号も期待してね!



編集・発行/ 静岡県消防学校 〒424-0211 静岡市清水区谷津町 1-577-1
☎ 054-369-1190 FAX: 054-369-1197 E-mail: fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp

★「消防学校ニュース」は静岡県ホームページの消防学校の案内・紹介のところに掲載しています。過去の分を含め、どうぞ御覧ください。

静岡県消防学校

検索

